

平

成30年は、明治元年から起算して満150年に
当たります。明治以降、近代国民国家への第一

歩を踏み出した日本は、多岐にわたる近代化への取
組を行い、国の基本的な形を築き上げていきました。

本特集では、林業遺産の事例を取り上

げながら、明治以降の林業、森林文化

を再認識し、将来につなげる契機にし

ていきたいと思います。



四国森林管理局保存の 大正～昭和初期の林業関係写真

四国森林管理局は、旧高知大林区署・高知営林局時
代から四国4県を管轄区域としており、業務に必要な
記録として写真資料が保存されてきました。この中で、
10編(15分冊)の写真帳にまとめられた写真422枚
(重複除)が林業遺産に認定されています(写真1)。こ
れらの写真帳は局長室に長年保管されていたもので
す。四国森林管理局の江坂文寿業務管理官によると
「国有林は業務記録として写真を膨大に撮影していま
すが、まとまった冊数の写真帳に整理・保存され、閲覧
に供される状態になっている例は珍しいと思います。
この点が林業遺産として評価されたのでしょう」との
ことで、大正期から昭和初期の林業や植生、山村の暮
らしを物語る貴重な史料となっています。写真帳は、
昭和天皇が皇太子時代にご視察された際に作成した
「行啓記念写真帳」、内部用にまとめられた「事業参考
写真帳」「写真帳(土木)」「写真帳(造林)」等に分類さ
れており、当時の施業技術がわかる写真も多く残され
ています。例えば、造林編に収められている写真では、
造林後の植生回復経過の記録(写真2)があり、大規模
で長時間な林相の変化を記録できたのは国有林事業
の成果だと考えられます。搬出技術についても、森林



写真7 森林軌道の橋脚跡



日本森林学会による

日本の林業遺産を知ろう！

第1回 大正～昭和初期の林業関係写真 ～いの町の森林軌道跡～

鹿兒島大学農学部 おくやま よういちろう
奥山 洋一郎

軌道を走る機関車(写真3)、珍しい記録としては犬が引く貨車(写真4)の写真も残されています。江坂業務管理官は「これら国有林の資料はぜひとも学術研究利用していただきたいし、また国民の林業に対する関心を高めるためにも活用していきたい。要望があれば、地域のイベントでの写真展示にも協力したいと考えています」と語り、例えば、2017年に高知県田野町で開催された「日本遺産認定記念シンポジウム」では、森林鉄道の記録写真を展示公開して多くの市民の関心と呼んでいます(写真5)。国有林は国民の森林、共通の財産ですが、その価値は木材だけではなく、技術の形成を物語る歴史資料も貴重なものになります。これら写真の一部は四国森林管理局のホームページで公開されています。

いの町の森林軌道跡

高知県の町は森林率が90%を超える林業の盛んな地域で、特に旧吾北村・旧本川村は国有林と歩んだ歴史があり、木材を搬出する森林軌道が存在していました。いの町内の森林軌道は1923年頃から敷設されて、1964年まで利用されていました。しかし、自動車道路が整備されてトラック運送に切り

替わる中で、搬出用としての役割を終えて、現在は部分的に作業道として名残をとどめています(写真6)。本遺産の特徴は、軌道が廃止になって40年近く経ってから、地域の有志による活動で価値が再発見されたことにあります。地域住民の中には森林軌道が運行されていた時代を記憶している方もいますが、日々の暮らしの中で接点を持つことが無く時が流れていました。本町の軌道跡に再び光が当たったのは、2003年のことです。旧吾北村で地元有志による「森林軌道を歩こう」実行委員会が結成されて、軌道跡の踏査や整備が実施されました。その後しばらく活動が中断しますが、2012年に町内有志により「いの町森林軌道探検隊」が結成されます。この時、中心となったのが町外からの移住者で、埋もれかけていた地域に残る遺構の価値が新たな視点から評価されたものです。その後、町民対象のピクニック会や旅行会社主催のツアーも実施されています。森林軌道はいの町内を南北に縦断するように敷設されていましたが、レールの多くは既に撤去されています。ただ、橋脚(写真7)やトンネル(写真8)等の構造物が各所に残り、往時の木材生産・搬出の栄華を現在に伝えています。軌道跡自体は傾斜が緩やかで歩行は容易なのですが、一部で崩落や沢の増

水等の危険箇所もあります。いの町森林政策課の野村考宏課長は「町としても今年度から予算を確保して整備を実施することとしているが、路線は長大で限界があります。ガイドの同伴によるツアーも展開したいが、地元有志の負担も大きいので簡単ではありません。現在は、町教育委員会主催の歩行イベントを開催する等、町民の関心を高めています。安全を確保しながら、学校行事の中で町の歴史を学ぶ場としても活用されるようにしていきたい」と、今後の取り組みを見守りたいと思います。



写真1 林業遺産選定の写真帳



写真2 造林地の推移 (四国森林管理局提供)



写真3 森林軌道の機関車 (四国森林管理局提供)



写真4 森林軌道での犬曳き (四国森林管理局提供)



写真5 国民への公開 (高知県田野町役場提供)



写真6 旧森林軌道敷



写真8 森林軌道のトンネル跡